



杏林薬膳橋井

中国から到来した神農氏

中医学にはよく「杏林」・「橘井」などの言葉を使います。その言葉の由来、また歴史の中で有名な医学者・著作を連載して紹介します。

(連載3) 順天堂大学医史研究室非常勤助手 陶 惠寧



農業の神様 中国の典籍『補史記』、『白虎通義』によると、神農氏は木を切って鋤を作り、木をたわめて鋤の柄をつくって、中国最古の木製農具（耒耜・鋤）を発明した神といわれる。また人間に土壤の良し悪しの見分け方と鋤鋤の使用法を広め、はじめて耕作することを教えた。農業の発展を大いに促進したことから、農業の始祖として「神農」と号したといわれる。

中国では、農業科学技術の進歩と革新に大きな貢献をした団体や個人を奨励するために与えられる中国農業産業界唯一の総合的最高科学技術成果賞も「神農中華農業科学技術賞」と神農の名前がついている。

商業の神様 『周易』には、神農氏は多くの人が本当に必要なものを生産できず、不必要的ものを余分に生産して、生活にとって非常に不利益であるを見て、余ったものを一箇所に集めて日中（正午）に市を設けて、物々交換し、夕方に帰るようにしたという記載がある。このように物々交換を教えて、商業をもたらしたため、神農氏が商売の神としても祀られている。

音楽・占筮の神様 東漢の『新論』と唐代の『隋書』にも、「神農氏が琴を作った」と記す。神農氏が五弦の瑟（しつおごと）を造って、鳥のさえずりのような美しい音楽を奏で人々に聞かせた。そのほか、伏羲が考案した易占の八卦を、六十四爻（こう）に発展させた。そのため、音楽・占筮の神様とも言われる。

薬膳おせち



中医薬膳師コース第5期生の高田理恵さん（岐阜県在住）が経営されている薬局において、昨年末に薬膳おせちを作りました。メンバーの中には、通信教育コースの岡田準一さん、田辺由美さんもいらっしゃいます。添加物なしの手作りお節ですが、年末多くの種類を一人で作るのは大変！それなら、薬膳仲間で手分けして、それを持ち寄って詰めようか・・・。ということで、8人のメンバーでそれぞれ1~2品を8軒分作りました。それぞれの得意分野ですので、とても美味しく、何とこの豪華さで一人4320円におさまり、懐も大満足でした。

財団法人 研医会図書館

どなたでもご利用できる、古い貴重な書籍を閲覧できる図書館です。

本草綱目の複製なども収蔵されています。ご興味のある方は足を運ばれてはいかがですか？

住所:中央区銀座5-3-8

TEL: 03-3571-0194

アクセス: 東京メトロ銀座駅下車5分

J R有楽町駅下車5分 ソニービル



お知らせ

今期は、皆様からたくさんの原稿をいただきましたので8ページ構成となっており、用紙もA3サイズの折りたたみスタイルにしております。今後はA3サイズの4ページ構成に致します。なお、「本草つうしん」は在校生のみに配布しております。卒業後も購読をご希望される方は有料になりますので、お問い合わせ下さいますようお願い致します。

